

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 児童デイサービス のびっとANO-ANO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	0		
	2	職員の配置数は適切である	2	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	0		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	0		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	2	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	0		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービス のびっとANO-AI

保護者等数(児童数)5名 回収数 3(兄弟含む) 割合 60%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3					
	2	職員の配置数や専門性は適切である	3					
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3					
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	3					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3					
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2	1				
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	1				
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	3					

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3					
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	3					
	23	事業所の支援に満足している	3					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 児童デイサービス ぱびっと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である		4			空間が少し狭いように感じる
	2	職員の配置数は適切である	3		1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	2	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	4				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	2	1	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	2	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	1	3			
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	4				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	4				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	3	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている		4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	2			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	2			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				
	35	個人情報に十分注意している	3	1			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2	2			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	2	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		4			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	2	1		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業 放課後等デイサービス ぱぴっと

保護者等数(児童数) 18 回収数 10 割合 55 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3		もう1部屋広い空間が必要	時間帯の有効活用等 合わせて検討します
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			
適切な支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	10				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	6	1		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	2			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	2			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		4	6	親子一緒に紹介が欲しい。保護者会の有無がわからない	保護者会等の実施について検討していきます
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	4			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	2			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1			
非常時等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	8	2			
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3	6	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	6			
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1			
	18	事業所の支援に満足しているか	9	1			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 児童デイサービス のびと4 (男塾)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2				
	2	職員の配置数は適切である	2				上司に相談できる仕組みや職員交換研修等がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	1	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	1		1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	2				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	2				
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	2				保護者への連絡は細目になっている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2				
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	2				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	2				利用者と相談しながら行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	1	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	2				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	1	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	2				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	2				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	2				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2				送迎、その他でも学校と連絡を取り合っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2				
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2				
	35	個人情報に十分注意している	2				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2				

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		2			介護保険事業所と比べるとマニュアル化されていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業 児童デイサービス のびと4(男塾)

保護者等数(児童数)19名 回収数10(兄弟含む) 割合 53%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	2			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9	1			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	1			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3	1		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	3	自分自身が参加できていない現状。保護者会の有無がわからない	保護者会等の実施について検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2		安心して信頼しています	今後も、保護者の相談についてしっかり対応できるようにします。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			連絡ノートがあるとありがたい	連絡ノートの検討します。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1			
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	10				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	3	2	防犯マニュアルの有無がわからない	防犯マニュアルの説明をしっかりと行います。
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	4		やった事がある？時間的に難しいのでは	年に2回の実施を行い、実施の際には報告します。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1		利用者本人が満足している	今後も、楽しく通所できるように支援していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	10			楽しく通えていて感謝している。満足している	今後も、保護者の皆様に満足していただけるような支援を心掛けていきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 児童デイサービス のびっと3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	2	利用人数が多い日は、活動を室内・屋外に分けて行っている	利用人数が多い日のスペースの確保
	2	職員の配置数は適切である	2	1	コアタイムはパート職員も入り、規定以上に配置している	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	数多く空間を用意している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	2		参画しているが、共有ができていない
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0		研修の案内はあるけれど、参加できない勤務状況
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		ガイドラインの読み合わせが必要である。認知度に差異があるように感じる。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	3	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		会議に参加する人が限定されている為、内容を把握できていない時があるので周知できるようにしてほしい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1		〃
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	1		〃
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1		〃
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1		〃
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1		〃
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		〃
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	1		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	2		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	2		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2		父母会等の組織がない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	2		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービス のびと3

保護者等数(児童数)24名 回収数 13(兄弟含む) 割合 54%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	12		1		子どもが遊ぶスペースは十分に確保されている	今後もスペースの有効活用に努めます。
	2	職員の配置数や専門性は適切である	12	1			再確認したい。	職員の配置基準は満たしており、有資格者であります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11			2	すっきりと配置されているためわかりやすい。	今後も配置やバリアフリーなど配慮に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	1	1		清潔でトランポリン等の設備もあり良い環境だと感じている。床に落ちているゴミや髪の毛が気になる。来客用のトイレ用スリッパが欲しい	清潔を保持できるよう心がけます。来客用のトイレ用スリッパは用意しています。
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	13					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11			2	わが子の成長をととても感じる ので個々にあった支援を受けていると実感している。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11	1		1		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2		7		
適切な支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	13					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	13					
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	8	1	1	3		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	1			相談にも応えてくれるので心強い。	今後も、定期的な面談や緊急時の面談等、対応していけるようにします。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	12	1			日頃から状況報告がある。家でもできるトレーニングがあれば情報が欲しい	情報等もアドバイスできるようにします。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	4	2	1	6	保護者会があれば参加したい。他の保護者と話す機会が欲しい	保護者お招き会の実施を予定しています。今後も、計画していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	12	1				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	12			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	11	1		1	毎月広報誌を発行していて、活動の様子が写真で確認できる。毎月楽しみにしている。個別情報を設定のIDパスワードで閲覧できるサイトを開設してほしい	個別情報の設置については検討していきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	11	1		1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4	4		4	台風時の対応があいまい	再度、台風時のマニュアルについて検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	1		10	実行されているかわからない	年に2回実施し、実行した際には報告します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	11	2				
	23	事業所の支援に満足している	11	2			支援を受けてから成長を実感でき、満足している。	今後も、要望に応えられるようにしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 児童デイサービス のびっと

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	1	3			
	2	職員の配置数は適切である	2	2			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		2	2		身体障がい者向けではない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	2	1	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	2	2			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3		1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	1	3			
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3		1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	2	2			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	2			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	3		1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	2		2		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	1	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	2	1		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	3	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	1	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2		2		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2		2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		1		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		1		
	35	個人情報に十分注意している	4				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	2			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	1		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	2	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	3			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業 児童デイサービス のびっと

保護者等数(児童数)21名 回収数6(兄弟含む)割合 29%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		1		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	3	1		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	1		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	6				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5		1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1			
	18	事業所の支援に満足しているか	5		1		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業所名 児童デイサービス のびと2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である		3		廊下等を利用して いる	
	2	職員の配置数は適切である	2	1			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている		1	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	3				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	3				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	3				
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	2	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	2	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	3				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	2	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	3				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	2	1			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	3				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2	1			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3			内容に応じて、保護者の前で対応を実践してアドバイスしている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1			助言は常にしているが適切かはわからない
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1			
	35	個人情報に十分注意している	3				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		2	1		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			身体拘束は行っていない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		2	1		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月18日

事業 児童デイサービス のびと2

保護者等数(児童数)8名 回収数5 割合 63%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5				
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5				
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	5				
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2			
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		5			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5				
	14	個人情報に十分注意しているか	5				
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5				
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5				
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	5				
	18	事業所の支援に満足しているか	5				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。